

活動内容報告書

団体名		NPO法人 美ら島きこえ支援協会
直近3か月活動報告	21年 2月 28日	遠隔通訳学習会（要約筆記・手話通訳・UDトーク等を活用した遠隔通訳の学習）
	21年 3月 14日	各種専門分野を対象とした手話講座（講師：武居渡 氏）
	21年 3月 20日	きこえの啓発チラシ・リーフレット・ポスター・ロゴ作成事業



■ コロナ禍により、大きく多様化する情報保障
2021年2月28日に、沖縄県身体障害者福祉協会主催「遠隔通訳学習会」に、音声認識支援の担当として参加しました。学習会では、デモ講演会の情報保障として、要約筆記、手話通訳、UDトークによる音声認識等を、Zoomの画面上に表示し、オンラインでの情報保障のあり方、機材の配置・運用等を学びました。コロナ禍が続く中、聴覚障害への情報伝達的手段も多様化せざるを得ない事を実感。。時代の変化に柔軟な「きこえ支援」のあり方を今後も模索していきます。



■ 第二言語としての手話を学んでみよう！
2021年3月14日、沖縄聴覚障害者情報センター主催講座「中途失聴・難聴者として第二言語の手話を学習するには？」に参加しました。金沢大学教授の武井渡氏を講師に、日本手話と日本語対応手話の違い、手話形態論、言語としての手話の特性、難聴者が手話を学ぶための工夫等を学びました。オンラインでの遠隔講座でしたが、ヒアリンググループ、要約筆記、UDトークといった充実した情報保障もあった事から、非常に満足度の高い講座となりました。



■ きこえの啓発チラシ・ポスター・リーフレット完成！
2021年3月20日、令和2年度那覇市地域福祉基金を活用して作成した「きこえの啓発チラシ・リーフレット・ポスター」が完成し、那覇市内を中心とした公共施設・病院・補聴器販売店・公民館・自治会等に配布を行いました。本会の事業内容、協会概要、NPOとしてのミッション、入会フォームQRコードを記載し、可愛くわかりやすいアイコンも掲載されております。また「ちゅらみん」とネーミングした協会ロゴや、ロゴを記載した協会のぼりも作成し、今後これらの広報媒体を軸に、きこえの啓発活動を県内各地で精力的に行っていく予定です。

コメント

■ コロナ禍に翻弄された1年。。見えてきた協会としての方向性
延々と続くコロナ禍の影響で、大幅な事業縮小に追い込まれた1年となりましたが、多くの方々の多大なご支援・ご協力のおかげで、なんとか事業成果を残すことができました。遠隔通訳の必要性に伴う基盤整備は喫緊の課題であり、令和3年度事業のメイン事業として行っています。また、きこえの啓発チラシ等は多くの方々のご協力を得ながら県内各地に配布を行っていき、きこえの絆を県内各地に広めて参ります。今後ご理解とご協力を頂けると幸いです。

